# 土のう袋

### 土の詰め方

لح

### 土のう袋の積み方

※平成29年7月、町内で開催された防災対策講習会で、実際に土のう袋を 使った講習を参考に作成しております。

農協 営農課

## ◎土の詰め方

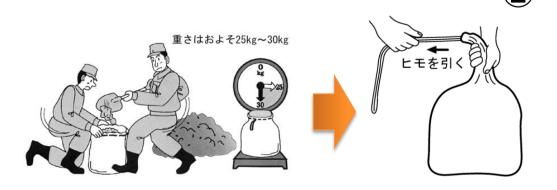
写真) 土のう袋規格: 48cm×60cm UV土のう袋(紫外線劣化防止剤入)



土のう袋をひろげ、スコップで4~5杯の火山灰を入れます。 (48cm×60cm規格で7~8割となり、重さは25kg~30kgになります。)



土を入れ終えたら、口ひもを引いて、袋の口をしぼります。





しぼりおえたら親指を添え、その指の上を、口ひもを2~3回軽く巻き付けます。



巻き終えたら親指を抜き、空いた輪に口ひもを上から通します。 (下からでも可)







最後に、通した口ひもを引っ張り、きつく縛ります。



できあがりです。

### ◎土のう袋の積み方



土のうの口を下(しも)側にして重ね並べ、かけや等で平坦にならします。 (矢印側からの水を防ぐ)



2段目以降も同様に土のうを重ね並べます。(講習会では3段積みにしました) (矢印側からの水を防ぐ)



足の幅程度(約30cm)に間を開け、補強用土のうを積みます。



同じ要領で土のうを積み上げます。



土のうと土のうの間に火山灰を入れます。



間に入れた火山灰も足で踏み固めます。

**(5)** 



できあがりです。 (矢印側からの水を防ぐ) 2重の壁にすることで、より強い土のうの壁ができます。



できあがりです。 (矢印側からの水を防ぐ)